

令和8年度尾張旭市一般会計予算

討論要旨 若杉たかし議員

大変に尾張旭の財政状況が厳しい中、多くの積極的な事業を展開される予算となっていると思っております。柴田市政が始まり4年目を迎える令和8年度予算案は、随所に柴田市政のカラーが見受けられ、3年間準備された事業が花開く予算であるとともに、市長就任以来、いろいろな角度から検討され出された結論であるというふうに受け止めさせていただきました。

それでは、予算に対する賛成の理由を述べてまいります。

一般会計予算は、三郷駅周辺まちづくり事業、印場駅バリアフリー化、人件費、物価高騰に伴う歳出の増加や、市長の言われる楽しく健やかな暮らしの楽しむ事業費を積極的に計上していることの影響か、前年より9億2,000万円多く、過去最高の規模である325億6,000万円となっております。

歳入では、微増する市税収入の見込みとともに、国庫支出金や県支出金、市債をしっかりと活用して、安定した行政サービスが提供されるよう、財源が確保されております。また、ユニークなのは「稼ぐ！プロジェクト」で、各課の広告収入やクラウドファンディングの活用など、我が市の財政状況が厳しい中、収入支出に対して職員の意識改革向上につながっていくと感じております。

一方、歳出では、社会保障関係費の増加に対応しつつ、安全安心な市民生活につながる事業に重点的に予算が計上されているとともに、新しい事業も盛り込まれており、柴田市長が思いを持って手がけられた予算として評価するものであります。

また、予算の内容についてその一端を申し上げますと、安全安心なまちづくり分野では、新型救助工作車の購入や水道管の耐震化工事による災害に備える整備費用が計上されているほか、労災病院西交差点改良など、交通安全にも意欲的に取り組まれている予算となっております。

また、子育て支援の分野では、こども誰でも通園制度の開始、保育園2園の増設で待機児童の解消につながり、安心して市内で子供が産める環境整備が進みます。

教育の分野では、小学校5校のロッカー大型化や小学校給食費無償化など、小学生や子育て世代の負担軽減につながる経費などが盛り込まれております。

都市基盤整備の分野では、三郷駅周辺まちづくり事業、北原山土地区画整理事業などを引き続き推進するなど、住環境整備に積極的に取り組んでいただく予算となっております。また、高齢者の外出支援策など、外に出かけたくなるまちづくり事業の見直しで、高齢者が要望していた市営バス・タクシーチケット利用の見直しが見直しがなされ、本市ににぎわいを生み出そうとする事業にも取り組まれていることが伺えます。

しかしながら、国内の急激な物価上昇に加え、アメリカとイランとの戦争で、石

油などエネルギー供給の不透明な情勢は、世界中が巻き込まれ、今までにあまり経験をしたことない経済状況で、全く見通しが立たないという現状でもあります。したがって、今後は内外の状況をしっかりと把握していただき、アンテナを高くし、その上で柔軟な財政対応をしていただくということを要望として付け加え、本予算に賛成の意を表するものであります。

柴田市長におかれましては、本市のさらなる発展と市民福祉の向上に努力されまことを期待しますとともに、皆様の御賛同をお願い申し上げ、私、令和あさひの賛成討論とさせていただきます。